

## 開発環境セットアップ TIPS

### 全般

まずは、以下の URL で解説されているページをよく読んでください。

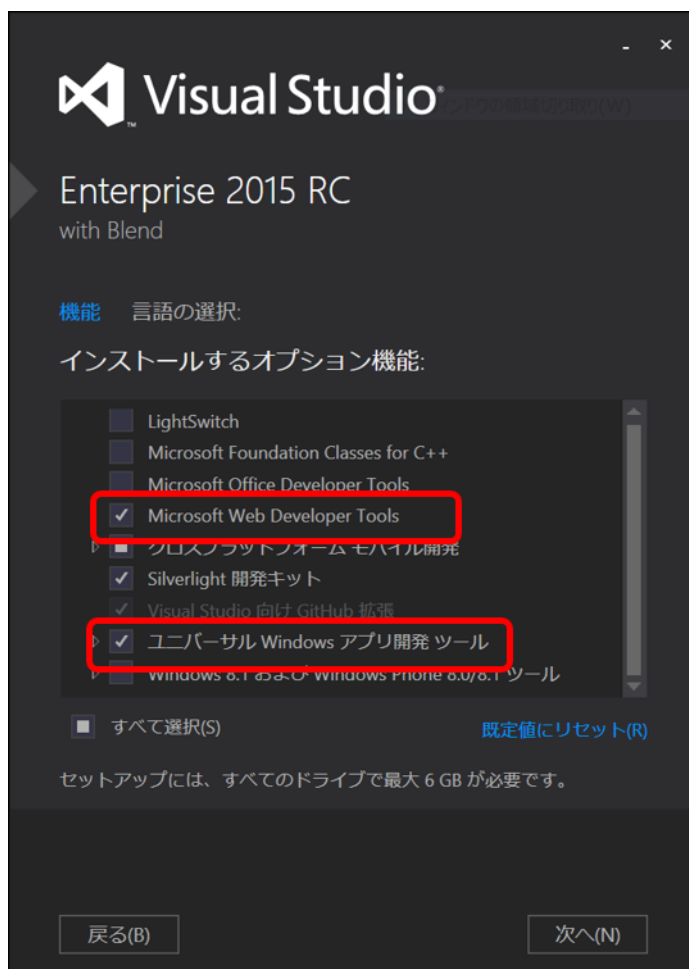
<http://ms-iot.github.io/content/en-US/win10/SetupPC.htm>

### Visual Studio 2015 RC のインストール

エディションは、Enterprise の選択をお勧めします。

インストーラを起動したときに表示されるダイアログで、“カスタム”を選択してください。

“インストールするオプション機能”で、“Microsoft Web Developer Tool”と“ユニバーサル Windows アプリ開発 ツール”にチェックを入れてください。



※ 既に“標準”でインストール済みの方は、Installer をもう一度起動して、“変更”をクリックして、上記の二つに✓を入れてインストールし直してください。

## Visual Studio 2015 RC への IoT Core Extension インストール

“Windows 10 IoT Core Insider Preview image for Raspberry PI 2.zip” ファイルに入っている、“**WindowsDeveloperProgramForIoT.msi**” を実行してください。

## Azure SDK のインストール

<http://azure.microsoft.com/ja-jp/downloads/> の左上、.NET カテゴリの“VS 2015 のインストール”のリンク (<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=518003&clcid=0x411>) をクリックし、VS2015AzurePack.exe をダウンロード&インストールします。

## 開発用 PC のデベロッパーモード設定

Raspberry PI2 で Universal Windows アプリを開発するには、開発用の Windows 10 PC が、開発者モードに設定されていなければなりません。

まず、コマンドプロンプトを管理者モードで起動します。左下の Windows ボタンを右クリックすると“コマンドプロンプト (管理者) (A)”と表示されるので、それを選択します。開いたコマンドプロンプトで、“Gpedit.msc”と入力し、Enter キーを押します。

表示された“ローカルグループポリシーエディター”の左側のペインで“コンピューターの構成”→“管理者用テンプレート”→“Windows コンポーネント”→“アプリパッケージの展開”まで開きます。以下の二つの項目をダブルクリックし、ラジオボタンの“有効”を選択して“OK”をクリックします。

- “ ” Allows development of Windows Store apps and installing them from an integrated development environment (IDE) “
- “信頼できる全てのアプリのインストールを許可する”

## 各自のボードの名前変更

事前に Raspberry PI2 で Windows 10 を起動可能なら、以下の手順で、自分の好きな名前に変更しておくことをお勧めします。Windows 10 IoT Core Watcher から自分のボードの IP アドレスを見つけやすくなります。

<http://ms-iot.github.io/content/en-US/win10/samples/PowerShell.htm>

開発用 PC と Raspberry PI2 を同一ネットに接続し、Raspberry PI2 に電源をつなぎます。ネットにつなぐ Raspberry PI2 は一台のみにしましょう。Raspberry PI2 に HDMI モニターをつなぐか、あるいは、Windows 10 IoT Core Watcher で、IP アドレスを確認し、開発用 PC で PowerShell を管理者モードで起動します。

```
PS C:\> net start WinRM
```

調べた IP アドレス (<IP Address>の部分置き換えてね) を使って、以下を入力します

```
PS C:¥> Set-Item WSMan:¥localhost¥Client¥TrustedHosts -Value <IP Address>
```

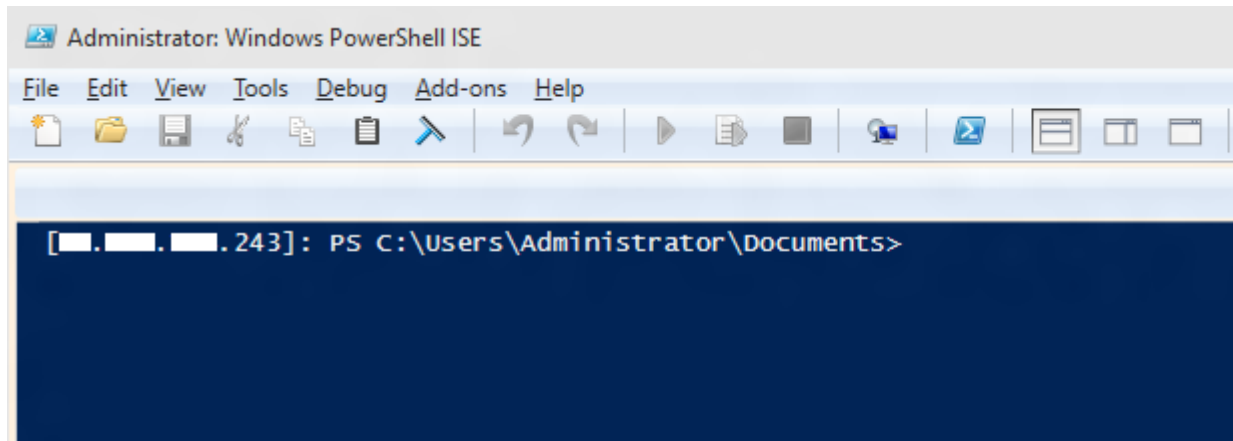
Yを入力し、以下を入力します。

```
PS C:¥> remove-module psreadline -force
```

<IP Address>の部分を各自の IP アドレスに変えて、以下を入力します

```
PS C:¥> Enter-PsSession -ComputerName <IP Address> -Credential <IP Address o  
r localhost>¥Administrator
```

パスワードを入力します。デフォルトは、“**p@ssw0rd**”です。この接続は 30 秒ほどかかります。気長に待ってください。



接続が確立されると、上の様に表示されます。

名前の変更は以下のコマンドで行います。

※先頭の[192....]の部分は各自の環境によって異なります。

```
[192.168.0.243]: PS C:¥> setcomputername <new-name>
```

名前の変更を有効にするにはリブートが必要です。以下のコマンドでリブートしてください。

```
[192.168.0.243]: PS C:¥> shutdown /r /t 0
```